

教育・文化

(新) 鶴ヶ島中学校開校に向けて



(新) 鶴ヶ島中学校の開校に向けて

問 再編前の鶴中と西中の交流は。

答 鶴ヶ島中学校の生徒会役員が西中学校の生徒会役員を学校に招き、お互いの学校や活動の情報交換をしたのち、校内を案内した。また、部活動では、練習試合や合同練習などで交流を深めている。ほかに、特別支援学級でも(新)鶴ヶ島中学校に係属する小・中学校の児童・生徒が合同で授業を行い、交流を深めている。今後は、校外学習や修学旅行などの学年行事や交通安全教室などの学校行事を合同で実施できるよう取り組む。

問 来年度以降、生徒の不安を軽減させるための取組は。

答 関係する小学校の児童に再編の情報を随時提供し、(新)鶴ヶ島中学校への入学に期待を持ってもらえるよう努める。



いずも びんたろう
出雲敏太郎
議員



市民生活

地域を支える拠点づくり



更なる拠点づくりを

問 近年の市民センターの利用状況の推移は。

答 令和2年度の約10万8000人から、5年度は約27万人に増加している。しかし、コロナ禍前の元年度は約37万5000人であり、利用者は増加しているが、コロナ禍前の水準には回復していない。

問 市民センターの管理運営の課題は。

答 市民センター条例に定める地域活動や地域福祉の推進の支援が十分に果たせていないことである。

問 今後、更なる地域を支える拠点づくりに必要な取組は。

答 地域活動や地域福祉の推進の支援という市民センターの役割を果たし、自治会の負担軽減などと併せて機能拡充を検討し、地域を支える拠点づくりを推進していく。



おがわ しげる
小川 茂
議員



市民生活

本市庁舎の安心安全と利便性の向上



避難誘導プレートで障害者に配慮

問 火災発生時の来庁者への避難誘導は。

答 市庁舎には、職員による自衛消防隊を組織しており、火災発生時には、来庁者や職員の避難誘導を行っている。

問 毎年の庁舎の消防訓練で、障害のある方や、自力で避難することが困難な方などを想定した実践的な避難訓練を実施している。

問 庁舎利用時の障害者への配慮は。

答 点字ブロックや点字案内板、東側玄関に誘導チャイムを設置し、視覚や聴覚に障害のある方が安心して利用できるようにしている。また、多機能トイレを整備し、車椅子が利用できる広さや補助手すりなどの設置、人工肛門などに対応したオストメイト設備を備えるなど、多様な方が利用できるよう配慮している。



たかしま まさのり
瀧嶋 正紀
議員

